

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-508172(P2005-508172A)

【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-541767(P2003-541767)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	Z N A A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/395	Y
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	13/00	
A 6 1 P	13/02	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	35/00	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月2日(2005.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

泌尿器系障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であつて、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含むサンプルを試験化合物に、該化合物の該ポリペプチドへの結合に適切な条件下で、結合させる工程；ならびに

i i) 試験化合物の該ポリペプチドへの結合を検出する工程であって、それによって、該ポリペプチドへ結合する化合物を同定する、工程を包含し、それによって、泌尿器系障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 2】

泌尿器系障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含むサンプルを試験化合物に、該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で、結合させる工程；ならびに

i i) 試験化合物が該ポリペプチドの該活性を調節する能力を、アッセイする工程を包含し、それによって、泌尿器系障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 3】

泌尿器系障害を処置し得る化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子；および

d) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列をコードする核酸分子からなる群より選択される核酸分子を発現する細胞を試験化合物に結合させる工程；ならびに

i i) 試験化合物が該核酸分子の該発現を調節する能力を、アッセイする工程を包含し、それによって泌尿器系障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 4】

過形成を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド

配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含むサンプルを試験化合物に、該化合物の該ポリペプチドへの結合に適切な条件下で、結合させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物の該ポリペプチドへの結合を検出する工程であって、それによって、該ポリペプチドに結合する化合物を同定する、工程

を包含し、それによって、過形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 5】

過形成を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含むサンプルを試験化合物に、該試験化合物が該ポリペプチドの該活性を調節するのに適切な条件下で、結合させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該ポリペプチドの該活性を調節する能力を、アッセイする工程を包含し、それによって、過形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 6】

過形成を調節し得る化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子；および

d) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列をコードする核酸分子
からなる群より選択される核酸分子を発現する細胞を試験化合物に結合させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該核酸分子の該発現を調節する能力を、アッセイする工程を包含し、それによって、過形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 7】

前記化合物が、低分子、ペプチドおよび抗体からなる群より選択される、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記化合物が、アンチセンス核酸分子である、請求項 3 または 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ポリペプチドが、異種性のアミノ酸配列をさらに含む、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 10】

前記サンプルが細胞または単離されたポリペプチドである、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記細胞が、膀胱細胞および前立腺細胞からなる群より選択される、請求項 3、6 または 10 に記載の方法。

【請求項 1 2】

泌尿器系障害を有するか、または泌尿器系障害を発症する危険のある被験体を同定するためのキットであって、該キットは、第 1 の増幅プライマーおよび第 2 の増幅プライマーを含み、該第 1 のプライマーは、配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 の少なくとも 25 個の連続するヌクレオチドを含み、そして該第 2 のプライマーは、配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 の相補体からの少なくとも 25 個の連続するヌクレオチドを含む、キット。

【請求項 1 3】

泌尿器系障害を有するか、泌尿器系障害を発症する危険のある被験体を同定するためのキットであって、該キットは、以下：

a) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 9、3、6、12 または 15 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7、8、1、2、4、5、10、11、13 または 14 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチド、ならびに該ポリペプチドに選択的に結合し得る抗体を含む、キット。

【請求項 1 4】

前記泌尿器系障害が、膀胱、尿道または中枢神経系 / 末梢神経系の機能不全によって引き起こされる、尿失禁（過活動膀胱 / 過敏性膀胱を含む）、溢流性尿失禁、緊張性尿失禁、前立腺炎、良性前立腺増殖症、前立腺の癌または腎障害である、請求項 1 2 または 1 3 に記載のキット。

【請求項 1 5】

泌尿器系障害を有する被験体を処置するための薬学的組成物であって、請求項 1、2、3、4、5 または 6 において同定された化合物を含む、薬学的組成物。

【請求項 1 6】

前記泌尿器系障害が、膀胱、尿道または中枢神経系 / 末梢神経系の機能不全によって引き起こされる、尿失禁（過活動膀胱 / 過敏性膀胱を含む）、溢流性尿失禁、緊張性尿失禁、前立腺炎、良性前立腺増殖症、前立腺の癌または腎障害である、請求項 1 5 に記載の薬学的組成物。